

繊維産地ネットワーク協議会（第2回）

議事要旨

日時：令和4年9月29日（木曜日）14時00分～15時10分

場所：オンライン

出席者：

<構成員（代理含む）>

松木 俊朗	山形県産業労働部産業技術イノベーション課
森谷 久善	米沢市産業部商工課
稲澤 勝史	栃木県産業労働観光部工業振興課
仁木 宏幸	足利市産業観光部産業ものづくり課
菊地 淳子	足利市産業観光部産業ものづくり課
小野山 嘉彦	群馬県産業経済部地域企業支援課
塚越 惇也	群馬県産業経済部地域企業支援課
貞形 裕臣	桐生市産業経済部商工振興課
瀬戸 正徳	墨田区産業観光部産業振興課 課長
永井 智裕	新潟県産業労働部地域産業振興課
佐伯 和光	富山県商工労働部商工企画課
田甫 亮	石川県商工労働部産業政策課
小野田 謙一	福井県産業労働部産業技術課 副部長（産業技術）
宮下 久文	富士吉田市産業観光部商工振興課 課長
植村 まいこ	西桂町産業振興課
山下 啓道	静岡県経済産業部商工業局地域産業課 課長
永野 沙耶香	愛知県経済産業局産業部産業振興課
浅井 俊哉	一宮市活力創造部産業振興課 課長
佐藤 正和	津島市建設産業部 産業振興課
河口 泰英	羽島市産業振興部商工観光課
川越 舞子	東近江市商工観光部商工労政課
山崎 悟史	京都府商工労働観光部染織・工芸課
島貫 博志	京丹後市商工観光部商工振興課 課長
吉野 円望	泉大津市政策推進部地域経済課
板場 逸史	西脇市産業活力再生部商工観光課 課長
阪木 守彦	和歌山県商工観光労働部企業政策局企業振興課 課長
渡邊 高	倉敷市商工労働部商工課
白川 浩司	倉敷市商工労働部商工課
深田 啓太	井原市建設経済部 商工課
富永 雄一郎	福山市経済環境局経済部産業振興課 課長
垣内 あゆみ	今治市産業部産業政策局産業振興課 課長
氷室 健太郎	広川町産業課

<オブザーバー>

東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州経済産業局
富吉 賢一 日本繊維産業連盟 副会長

<事務局>

経済産業省 生活製品課

議事要旨：

(事務局より資料1～4、日本繊維産業連盟より資料5について説明。資料4を提示した後、自由討議)

議事8. 自由討議

- ・人材確保は、学生に対するインターンなどのアプローチやHPでの情報公開、さらに女性活躍を増やすことは大切。コロナ禍が明けたら、大手専門学生を対象に産地ツアーを実施し、地元企業をご覧いただく機会を作りたいと考えている。
- ・人材不足は地方でも大きな問題。特に、量の確保に関しアイデアがあるといい。有効求人倍率が高い地域特性を踏まえ、イノベーションの推進・省力化の活動を進めている。
- ・繊維業は3Kといわれ、夜間勤務が求められる実情もあり、単純労働市場の流動化の視点が盛り込まれるとよい。
- ・事業承継について、他産地でも同じ悩みを抱えていることが共有でき、大変参考になった。
- ・産地内でこの技術が無くなると産地として成り立たないという業種業態や技術について共有できるとよい。例えば、伝統的工芸品の場合、指定により技術を守るという取組があり、選択肢に入るとより具体的になると感じた。
- ・若手で勢いのある後継者が面白い取組をされており、こうした若手を応援する取組も必要。
- ・事業承継の一手手前になるが、承継してもらうためにも企業が儲かる、利益を上げる施策も盛り込んでほしい。
- ・販路開拓はまさに機能性が日本の強み。こうした製品開発や商品化の支援はもっと強化すべきだと思う。
- ・海外市場はエリアごとにアプローチが異なるので、エリア毎の方向性が示されるとよい。
- ・国内市場においても、ヘルスケア分野では機能性が高く評価され、衣料以外の分野に進出される企業もいる。そうした動きを育てていくために、例えば規格や認証なども盛り込まれるとよい。
- ・JFWから寄せられた声や、販路開拓に関する各自治体からのコメントに賛同する。
- ・海外進出にあたり、地方の産地を事前に見て回るオープンファクトリーの取組が、産地の協会や団体等により企画されると地方公共団体としても協力しやすい。
- ・取引適正化について、地方公共団体から寄せられた声に賛同する。利益を出す方策を盛り込んだ方がよい。
- ・リサイクルについて織物生産のうち5%が産業廃棄物として捨てられており、これらのリサイクルが必要と認識。この流れを生み出すため、アップサイクル製品の製造に対する規制緩和や税制優遇など流れができるまでの長期的な支援策があるといいと思う。

お問合せ先

製造産業局生活製品課

電話 : 03-3501-0969

FAX : 03-3501-0316